

広報ちゅうぎん

11月1日発行
編集者：安里

通所リハビリテーションとは

看護師 伊禮真澄

ちゅうぎん病院、通所リハビリテーションは平成五年の老人デイケア開設から始まり、十八年目に入ります。

開設当初から、医師・療法士・看護師・介護者の専門スタッフで行う評価委員会を開催展開し、利用者納得の評価を目指してきました。

私達ちゅうぎん病院が目指す理念は現在でも変わらず、障害のある高齢者が通いながら自立した生活を取り戻し、安定した家庭管理・リハビリテーション・社会的活動・介護者への支援・社会サービスの紹介等のサービスをチームで提供します。

☆専門職Ⅱ介護福祉士、介護者、看護師、准看護師、作業療法士、理学療法士と充実したスタッフで業務を展開します。

ちゅうぎん病院通所リハビリの特徴：個々にあったリハビリの提供です。

☆趣味活動Ⅱエコクラフト、ビーズ等の手工芸も取り組んでいます。

☆入浴Ⅱ利用者の満足度では圧倒的多数で入浴という声が聞かれ、中でも女性利用者への化粧サービスは好評でいきいきさを支援します。

☆屋外リハ活動Ⅱ屋外活動は去年から導入しており、初詣・花見ツアー・お買い物ツアー等、利用者にとって充実したりハビリで過ごしていきます。

☆年間行事Ⅱ二ヶ月に一回誕生会、季節行事に行う作品集展示

敬老会・クリスマス会など利用者は年間行事を通し、生きがいづくり、リハビリ意欲、モチベーション(目的意識)向上が期待されます。

☆ボランティアとの交流Ⅱ積極的に地域交流を促し、三味線・民舞・ダンス・マジックショー等バラエティーに富んだ各種ボランティア導入を継続しています。

今後もちゅうぎん病院通所リハビリテーションは、利用者のニーズを第一としたリハビリを総合的かつ、効果的に支援し地域活動の取り組みもより充実していかうと考えております。

◎通所リハビリテーションを利用するにはⅡ介護保険を利用されている方は担当の介護支援専門員にご相談下さい。

.....

骨粗鬆症とは？

ちゅうぎん病院 薬局

①主な概要

骨粗鬆症は骨の量が減少すると同時に、骨の中の構造が変化して質が低下し、骨が弱くなる病気です。そのため通常なら骨折しないような軽い力が加わっただけで骨折しやすくなります。また、脊椎がつぶれたり変形したりすると背中痛みや腰痛も現れます。高齢者の骨折は寝たきりの原因になることもあるので注意が必要です。

また骨粗鬆症は女性に多い病気でもあります。女性はもともと男性より骨量が少ないのに加え、閉経後、急に骨量が減るからです。ステロイド製剤長期内服においても骨粗鬆症になりやすくなります。年齢が上がるにつれて骨粗鬆症になる可能性が高まりますので早めに予防することが大切です。

②骨折しやすい部位

背骨・手首・腕の付け根・大腿骨（足の付け根）などが転倒により骨折しやすい部位であるといわれています。

③骨粗鬆症を予防するには

カルシウムなどの栄養を十分に摂りましょう。また、適度な運動と日光を浴びることによりカルシウムの効果が高まりますので積極的に行いましょう。アルコールや喫煙はカルシウムの吸収を妨げますので控えるにしましょう。

④骨粗鬆症に対する主な治療薬

- *ビスフォスフォネート製剤・・・骨の破壊を抑えます。
- *活性型ビタミンD3・・・カルシウムの吸収を高めます。
- *ラロキシフェン・・・閉経に伴う骨の破壊を抑えます。
- *カルシウム製剤・・・カルシウムを補給します。
- *ビタミンk・・・骨の形成を促進し骨の破壊を抑えます。
- *カルシトニン注製剤・・・骨粗鬆症における疼痛を改善します。

患者様を支える家族の役割

作業療法士 前川ケン

患者様が入院生活や在宅生活を行っていくうえで、つぎの三つの家族の役割が円滑に働いていることが必要だと考えられています。

①「観察者」

患者様の健康状態、気持ち、食事、排泄、活動を把握して、患者様の状態の変化を見守る。

②「管理者」

患者様の心身の状態に応じて医療機関・福祉機関などに相談する、さまざまな制度の活用や交渉や申請にあたる。

③「介護者」

患者様の身体機能や気持ちを把握し、適宜必要なケアを行う。

（渡辺ら、2000）

これらを十分に機能させるためには、以下のふたつのポイントが必要であると思います。それは『情報』と『三つの役割をそれぞれ分担すること』です。様々な情報を、ご家族同士または病院の職員と互いに共有し合うことや、誰がどの役割をどのように担うのか、現実的で実現可能な家族間での協力的体制づくり等が望まれます。

医療の場で“他人と話をするよりも、家族と話をしたほうが脳は活性化する”と昔から取りざたされているように、患者様を支える家族の役割の大切さは、科学的にも大きく認められているものと思われまます。またこのことは、患者様のみならず個々のご家族に合った支援がいかに大切であるか、私達自身、その重要性を再認識する良いきっかけとなるものと考えます。

なお当院では「家族会」が定期的に開催されており、ご家族や患者様の皆様にとって有益な企画を実施しています。日時や催し物の内容については、適宜院内に掲示いたします。

どうぞ皆様、ふるってご参加下さい。